

2025 年度 学生調査報告

九州ルーテル学院大学

はじめに

九州ルーテル学院大学（以下、本学）では 2016 年度より毎年、IR 委員会による学生の動向に関するアンケート調査を実施しております。2023 年度までは学生の負担軽減のために調査を2回に分けて行っていましたが、2024 年度より、さらなる負担軽減を目的として質問項目を見直し・削減して1回の調査に統合されました。2025 年度は 2024 年度と同じ調査票を用いて実施しており、前年度との比較が可能になっています。

地域に役立つ研究・実践と質の高い教育の保障を目指して向上を志す本学は、地域の皆さまや学生保護者の皆さまに説明責任を果たし、皆さまからご意見をいただくために、ここにアンケート調査結果を公表いたします。この報告書についてご意見・ご質問がございましたら、こちらまで（メール: inntelligence-c-klc@klc.ac.jp）でお知らせください。

調査概要

《調査対象者》

2025 年度在学学生 718 名（内訳：心理臨床学科 279 名，人文学科こども専攻児童教育コースおよび児童教育専攻（以下、児童教育）172 名，人文学科こども専攻保育コースおよび保育・幼児教育専攻（以下、保育・幼児教育）103 名，人文学科キャリア・イングリッシュ専攻（以下、キャリア・イングリッシュ専攻）147 名，その他（過年度生，長期履修学生，大学院生）17 名）。

《調査時期》

2025 年 9 月下旬から 2026 年 3 月上旬

《調査方法》

調査対象者に web アンケートを実施しました。1 年生から 3 年生までは共通のアンケートを実施し、4 年生のみ授業内容に関する調査項目が追加された調査票を用いて卒業生満足度調査として実施しました。

アドバイザーや特別研究の授業（ゼミ）担当者が学生に web アンケートに回答するよう依頼しました。また、卒業生満足度調査は卒業研究の提出時にも教務課から回答の依頼をしました。

《回収率》

回収率は学年ごとに以下のようになっています。（その他は大学院生，長期履修学生，および過年度生を差します。）

1 年：120 名/194 名（61.9%）

2 年：107 名/170 名（62.9%）

3 年：85 名/155 名（54.8%）

4 年：167 名/182 名（91.8%）

その他：5 名/17 名（29.4%）

全学生：484 名/718 名（67.4%）

《分析方法》

回答データの基本集計として、在学生全体，学年ごと，学科・専攻・コースごとに人数，人数比率，平均値を算出しました。分析の便宜上、学生の所属ごと、学年ごとに分けて行われた分析にお

いては科目等履修生、過年度生、大学院生、長期履修生のデータは除いて収集分析しています。
(学部生 479 名を集計対象としています。)

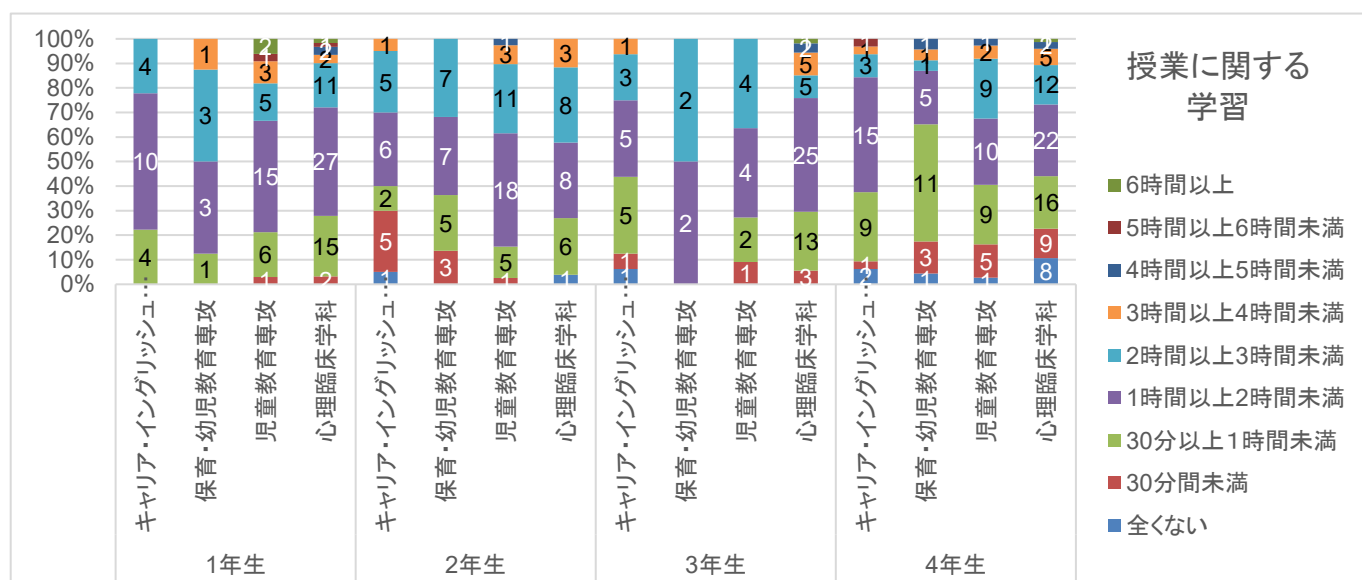
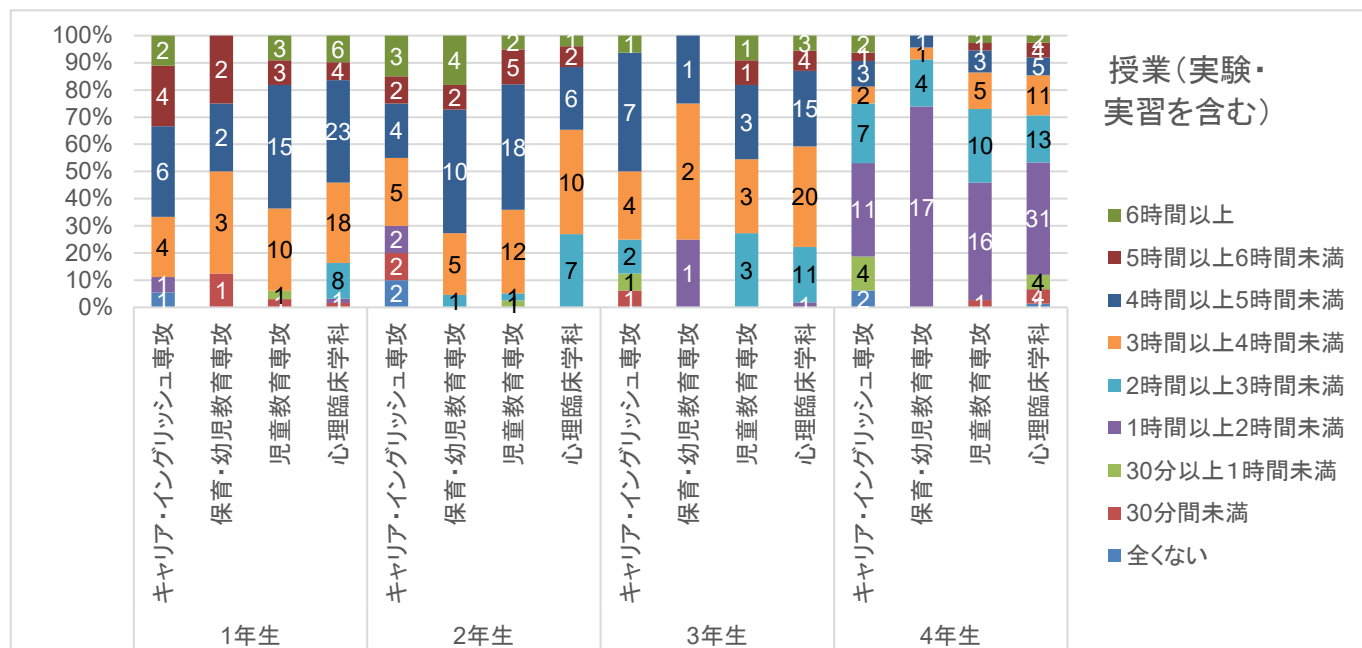
《調査項目の見直し》

2024 年度に大幅な項目の見直しが図られました。2025 年度は調査項目の変更はありません。
以下は 2024 年度の見直しの内容です。

本学へのイメージを問う項目や学習経験の有用性を問う項目、資格取得状況を問う項目などが
削除され、その他の質問においても内容の整理が行われています。また授業内容を問う項目に関
しては 4 年生のみに質問する項目に変更されました。

学修態度・行動

授業への出席時間と授業に関する学習にかけた一日あたりの時間は以下のとおりです。

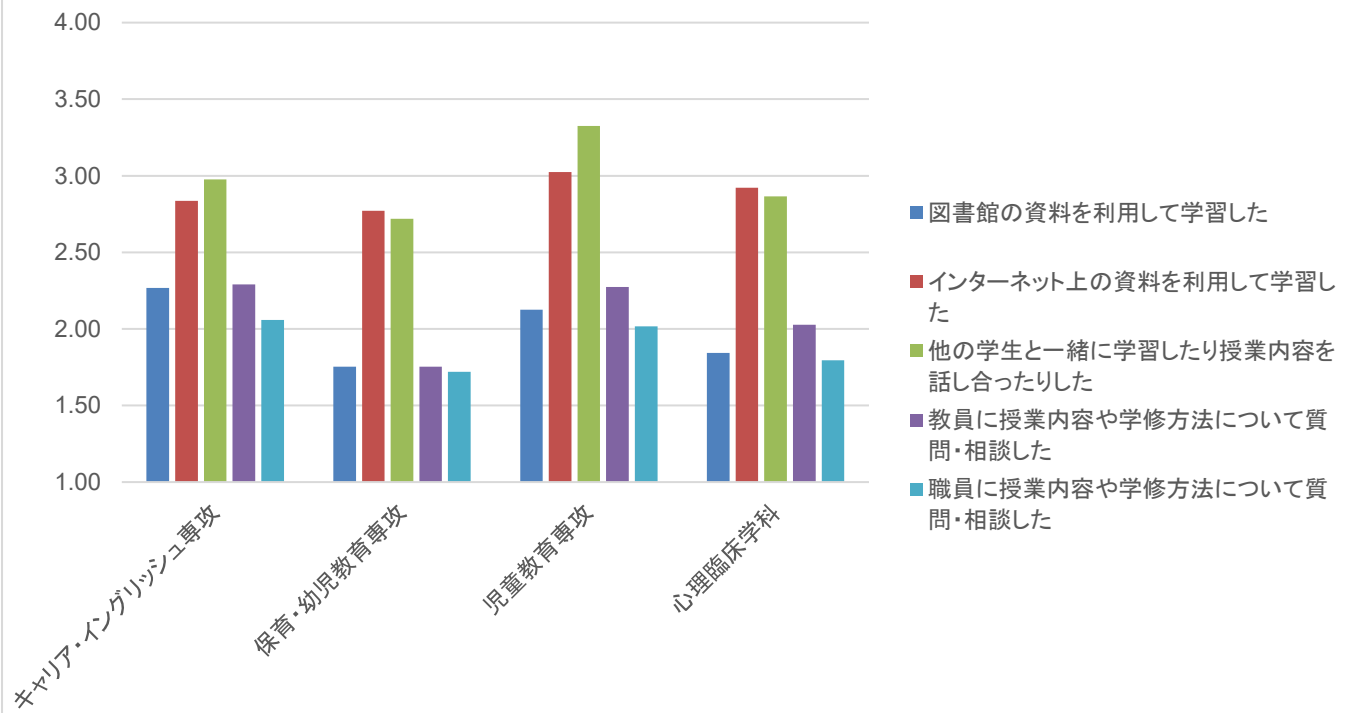


授業以外の学修活動

授業以外での学修活動に関して「ほとんどしなかった」「あまりしなかった」「まあまあした」「かなりした」の中からあてはまるものを一つだけ選択させて、それぞれを1,2,3,4と点数化して全学年での平均値を集計しました。

2023年度まで8項目の質問がありましたが2024年度より5項目に削減されました。項目別に見ると、キャリア・イングリッシュ専攻の「図書館の資料を利用して学習した」が2.01から2.27へ0.26ポイント(12.8%)上昇しており、最も大きな変化となりました。一方、保育・幼児教育専攻は5項目すべてで低下しており、「インターネット上の資料を利用して学習した」が0.19ポイント(6.5%),「教員に授業内容や学修方法について質問・相談した」が0.16ポイント(8.5%)減少しています。

授業外学修行動

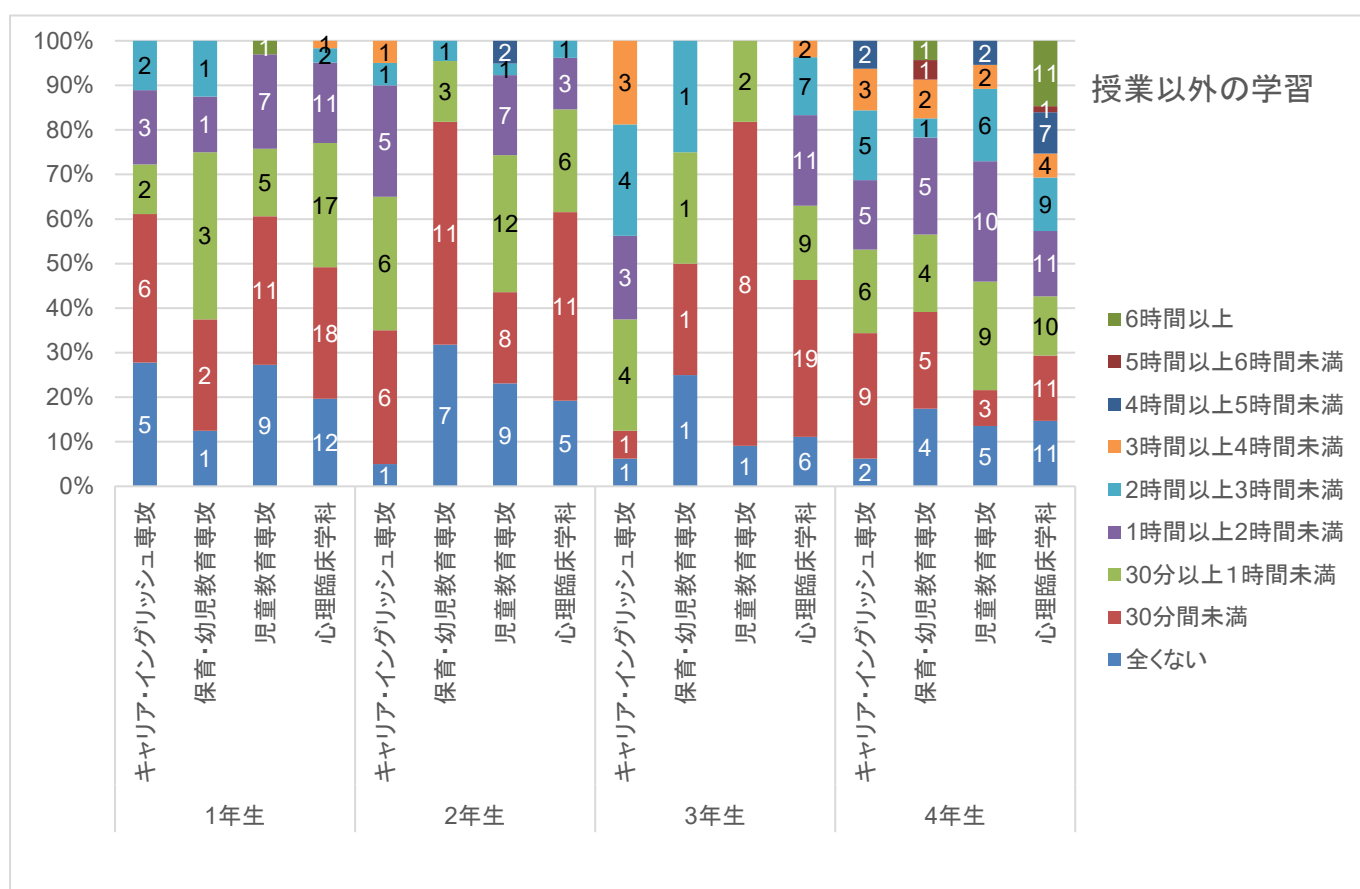


授業以外の活動時間

授業以外の活動時間は一日あたり平均何時間か、「全くない」「30 分間未満」「30 分以上 1 時間未満」「1 時間以上 2 時間未満」「2 時間以上 3 時間未満」「3 時間以上 4 時間未満」「4 時間以上 5 時間未満」「5 時間以上 6 時間未満」「6 時間以上」から選択する形式で回答を集計しました。

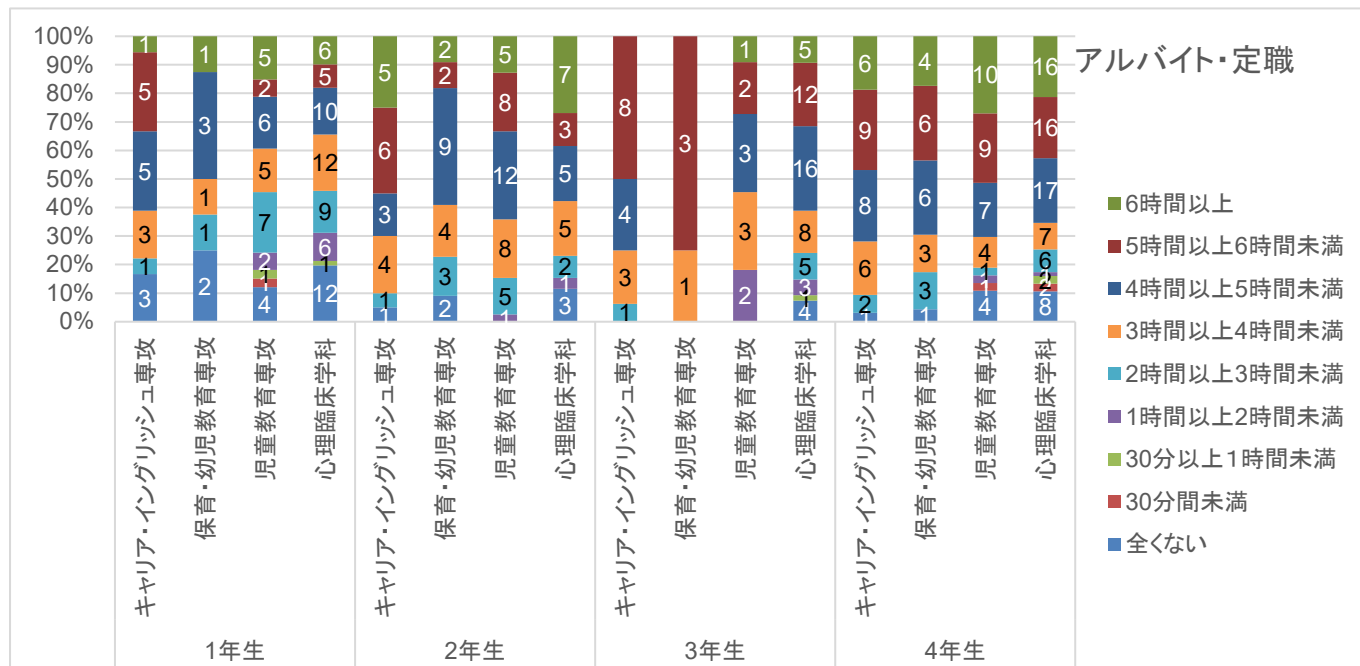
授業以外の学習時間

授業以外の学習時間は以下の図のようになりました。一日の平均学習時間は 1 時間未満の割合が圧倒的に多いことがうかがえます。2024 年度以前から変わらず、心理臨床学科(+1.76 ポイント)と児童教育専攻(+1.16 ポイント)では、4 年生になると一日の平均勉強時間がはっきりと長くなる傾向がみられます。2025 年度は保育・幼児教育専攻(+0.95 ポイント)にもゆるやかに同様の傾向がみられました。なお括弧内の数値は、4 年生の平均値から 1～3 年生の平均値を引いた差です。



アルバイト・定職にかけている時間

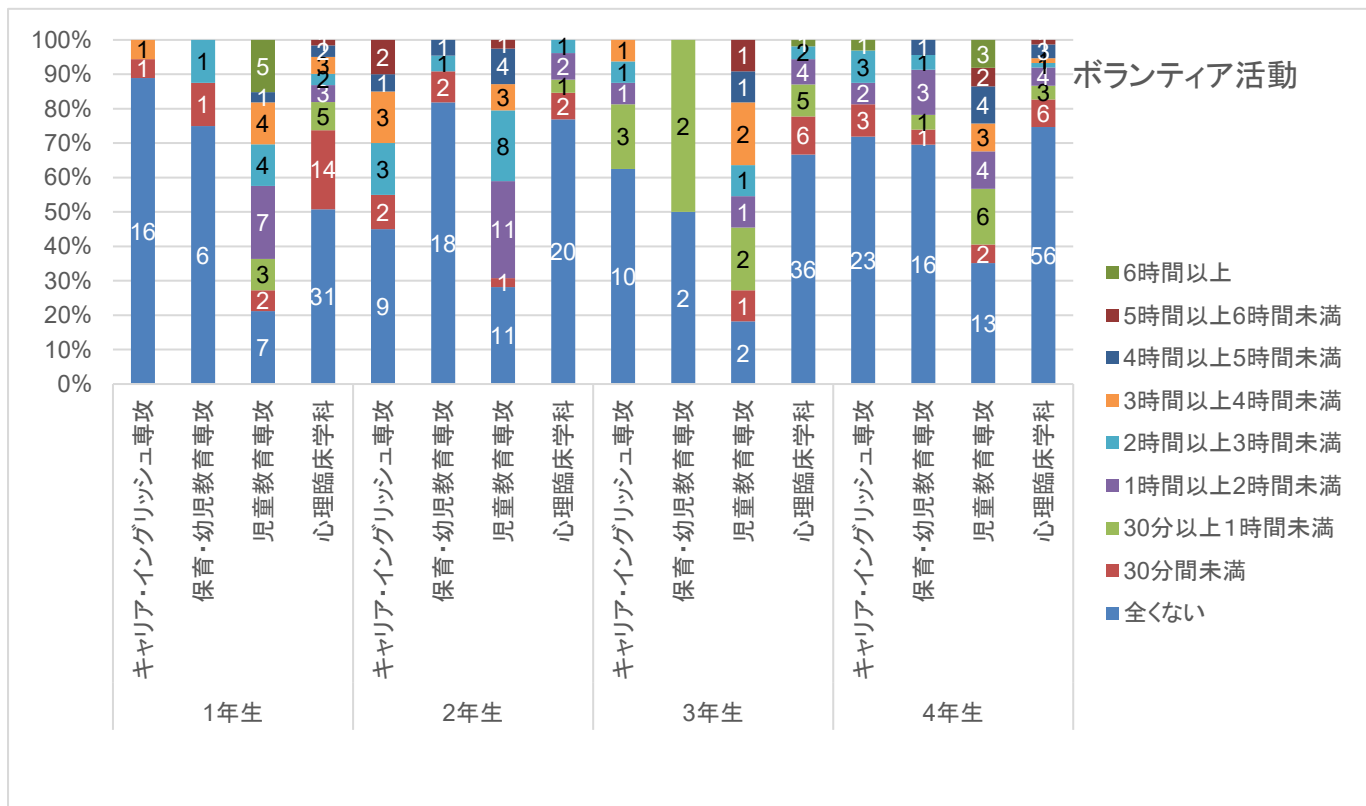
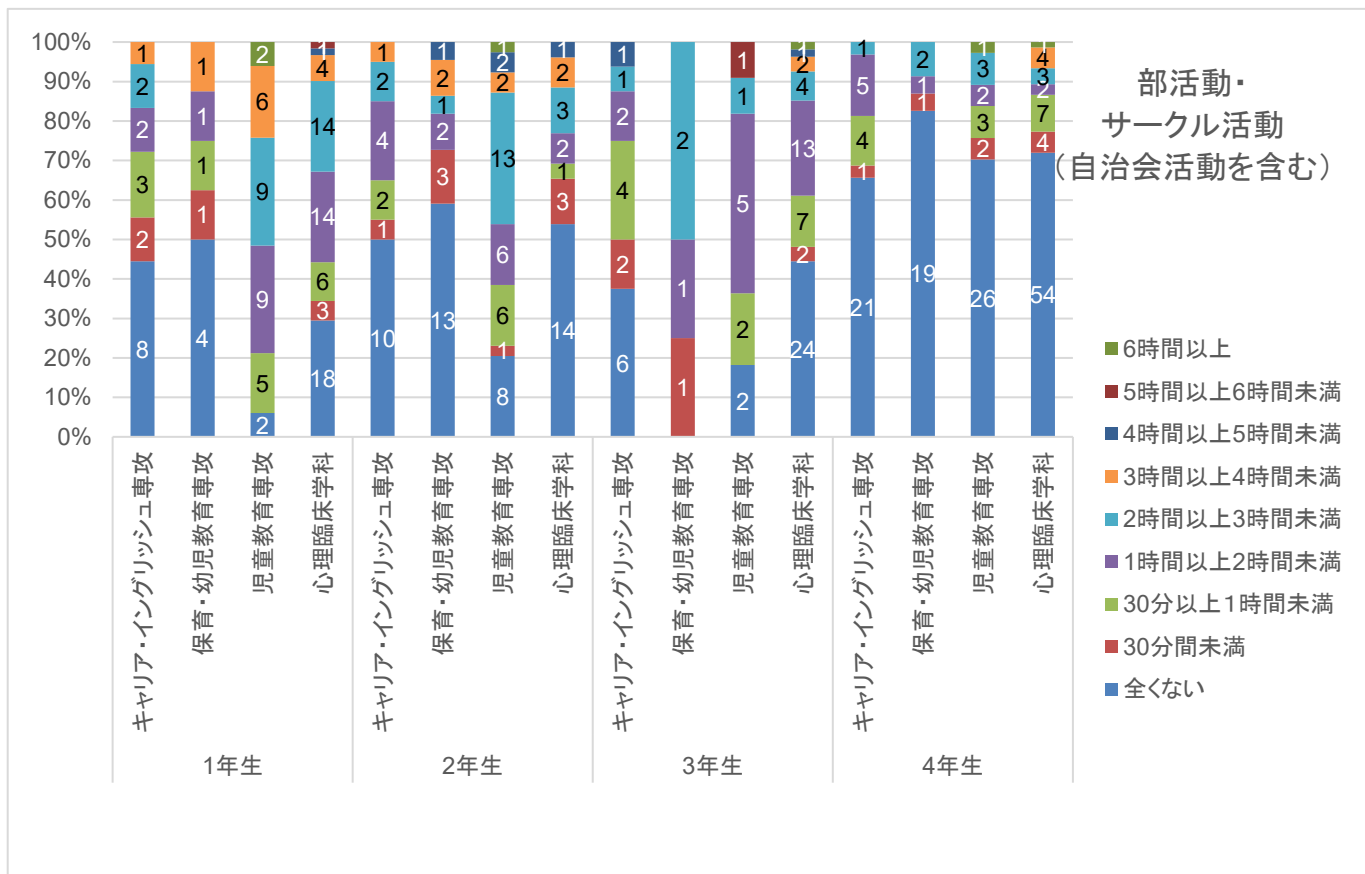
アルバイト・定職にかけている時間は以下のように分布しています。アルバイトが 0 時間の学生の比率は少なく、多くの学生が何かしらのアルバイトをしているようです。4 時間以上 5 時間未満の割合が最も多いようです。



部活動・サークル活動，学生自治会の活動，ボランティア活動にかけている時間

部活・サークル参加状況，自治会参加状況，ボランティア参加状況は以下の図のとおりです。2024年度より、自治会の活動時間は部活動・サークルの活動時間とまとめられました。部活動・サークル活動（自治会活動含む）に時間を使っている学生の割合は，児童教育が68.3%と最も高く，他の学科・専攻・コース（36.8～49.1%）を大きく上回っています。また，どの学科・専攻・コースでも4年生になると大きく下がり，全体では1年生73.3%に対して4年生は28.1%となっています。

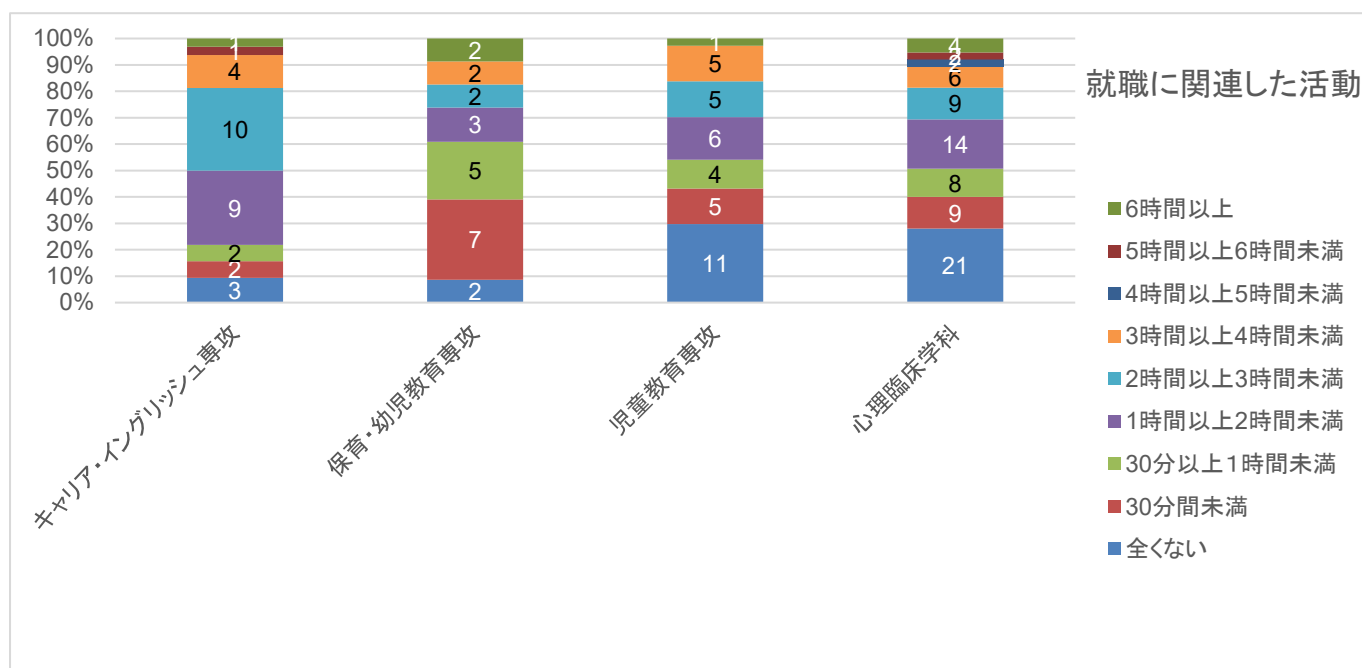
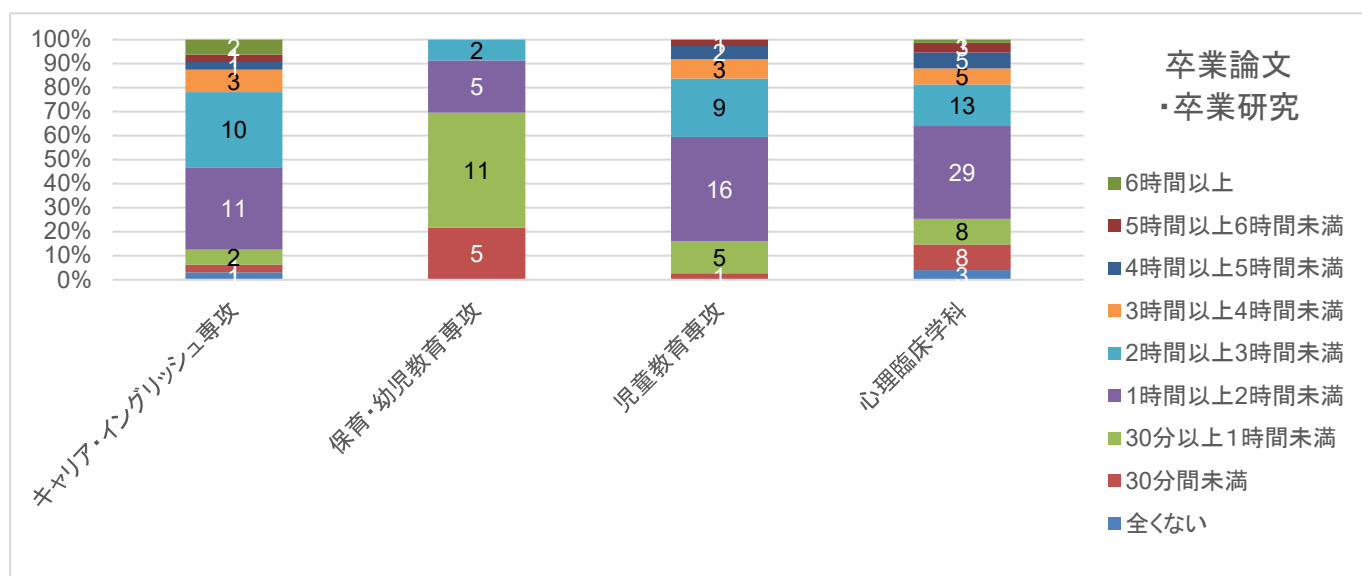
児童教育専攻は他の専攻と比べてボランティア活動へ参加している学生の割合が高くなっています（児童教育72.5%に対し，他は26.3～33.8%）。なお全体では2024年度より平均0.29ポイント増加しており，参加時間は伸びています。



卒業論文・卒業研究，就職に関連した活動にかけている時間

2024 年度より追加された 4 年生のみを対象とした質問項目です。

卒業論文・卒業研究と就職に関連した活動（就職に関わる情報のサーチ，就職相談，就職面接の練習等を含む）にかけた一日当たりの時間をそれぞれ調査しました。多くの学生は卒業研究に対して一日平均で2時間未満の時間をかけているようです（63.5%）。2024年度と比べると卒業論文・卒業研究にかかる時間は増え（平均 0.42 ポイント増），就職に関連した活動は減っています（同 0.29 ポイント減）。就職に関連した活動は「全くない」と答えた学生が最も多くなりました。

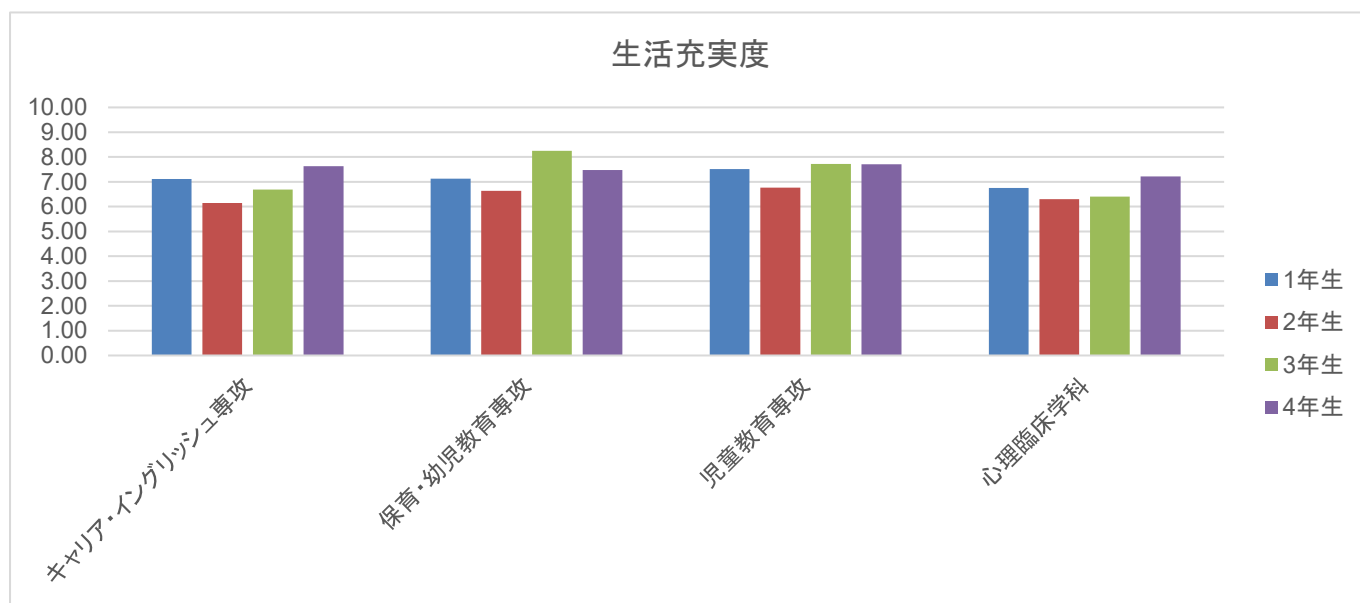


学生生活充実感および教育内容・施設・サービスに対する満足感

学生生活充実度

本学での学生生活にどの程度満足しているかを、0(満足していない)～10(満足している)の範囲の整数値で回答してもらいました。(2023 年度以前は充実度を「1. まったく充実していなかった」「2. あまり充実してなかった」「3. まあまあ充実していた」「4. 充実していた」の 4 件法で回答してもらっていました。)各学科・専攻・コースの学年ごとの生活充実度の平均値は以下の通りです。

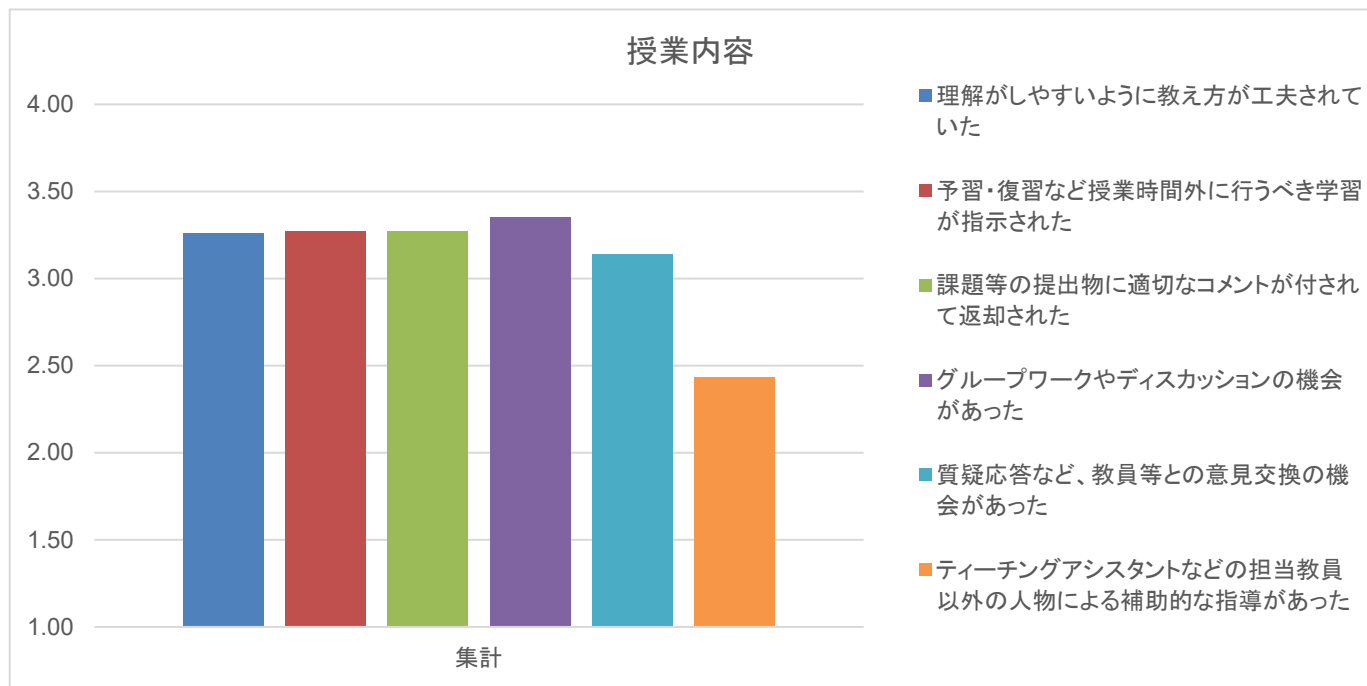
2025 年度はすべての学科・専攻・コース、すべての学年で 6 ポイント以上の平均値となりました(最も低いキャリア・イングリッシュ専攻の 2 年生で 6.15)。学年ごとに見ると、2024 年度に続いて 4 年生が最も高く(7.44)、2 年生が 6.51 と最も低くなっています。



授業内容

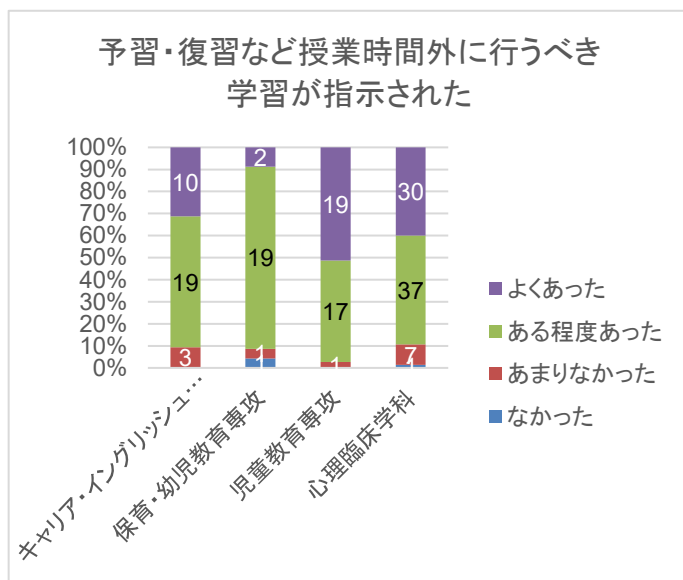
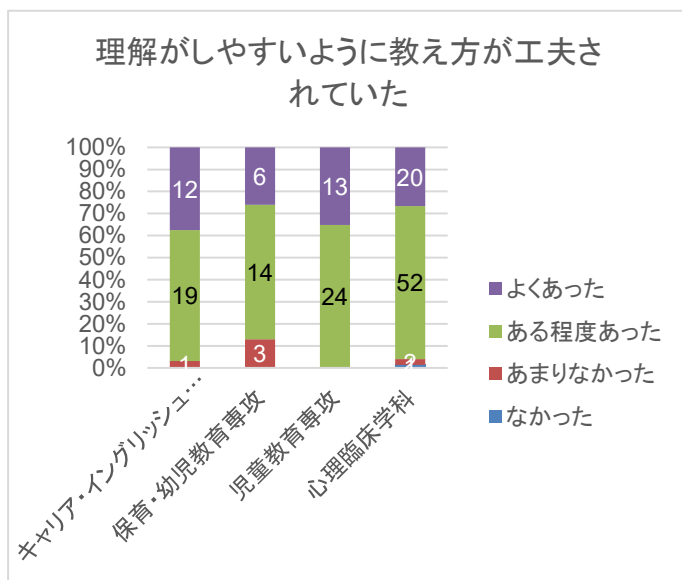
本学での授業において各項目をどれくらいの頻度で経験したのかを「1. なかった」「2. あまりなかった」「3. ある程度あった」「4. よくあった」の 4 件法で尋ねました。2024 年度より、4 年生のみを対象とした質問となり、質問項目が 6 項目まで削減されています。(2023 年度は 10 項目)

各項目の回答者数に対する平均値を以下に図で示します。6 項目のうち「ティーチングアシスタントなどの担当教員以外の人物による補助的な指導があった」だけが 2.43 と低く、他の 5 項目(3.14～3.35)から離れています。ただしこの項目は 2024 年度から 0.19 ポイント上昇しており、6 項目の中では最も改善しました。他の項目に 2024 年度からの大きな変化はありません。

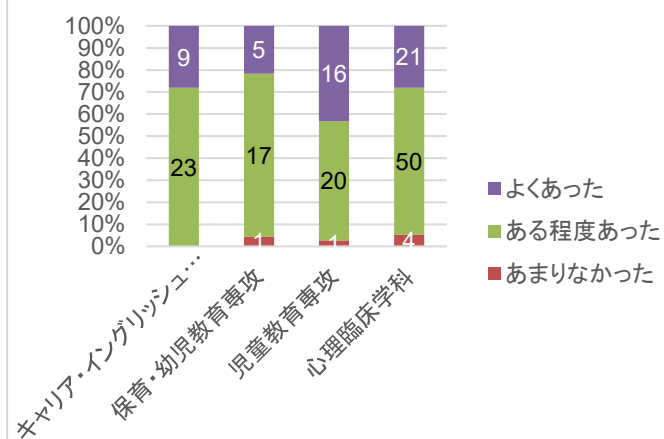


学科・専攻・コースごとの回答（授業内容）

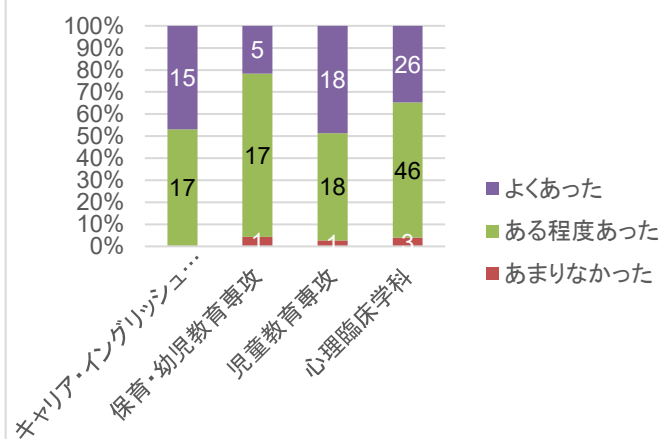
学科・専攻・コースごとの回答の分布を以下に示します。



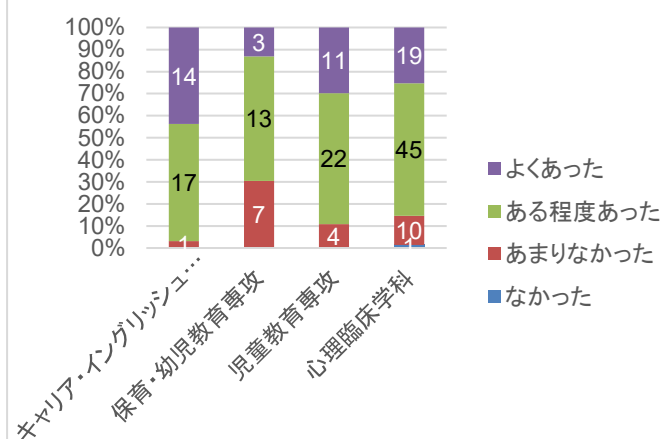
課題等の提出物に適切なコメントが付
されて返却された



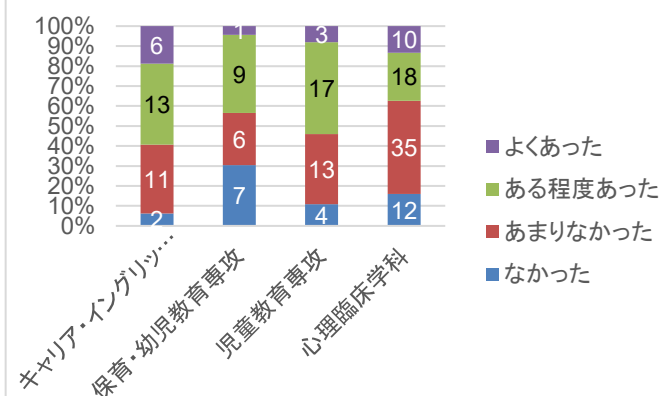
グループワークやディスカッションの機
会があった



質疑応答など、教員等との意見交換の
機会があった



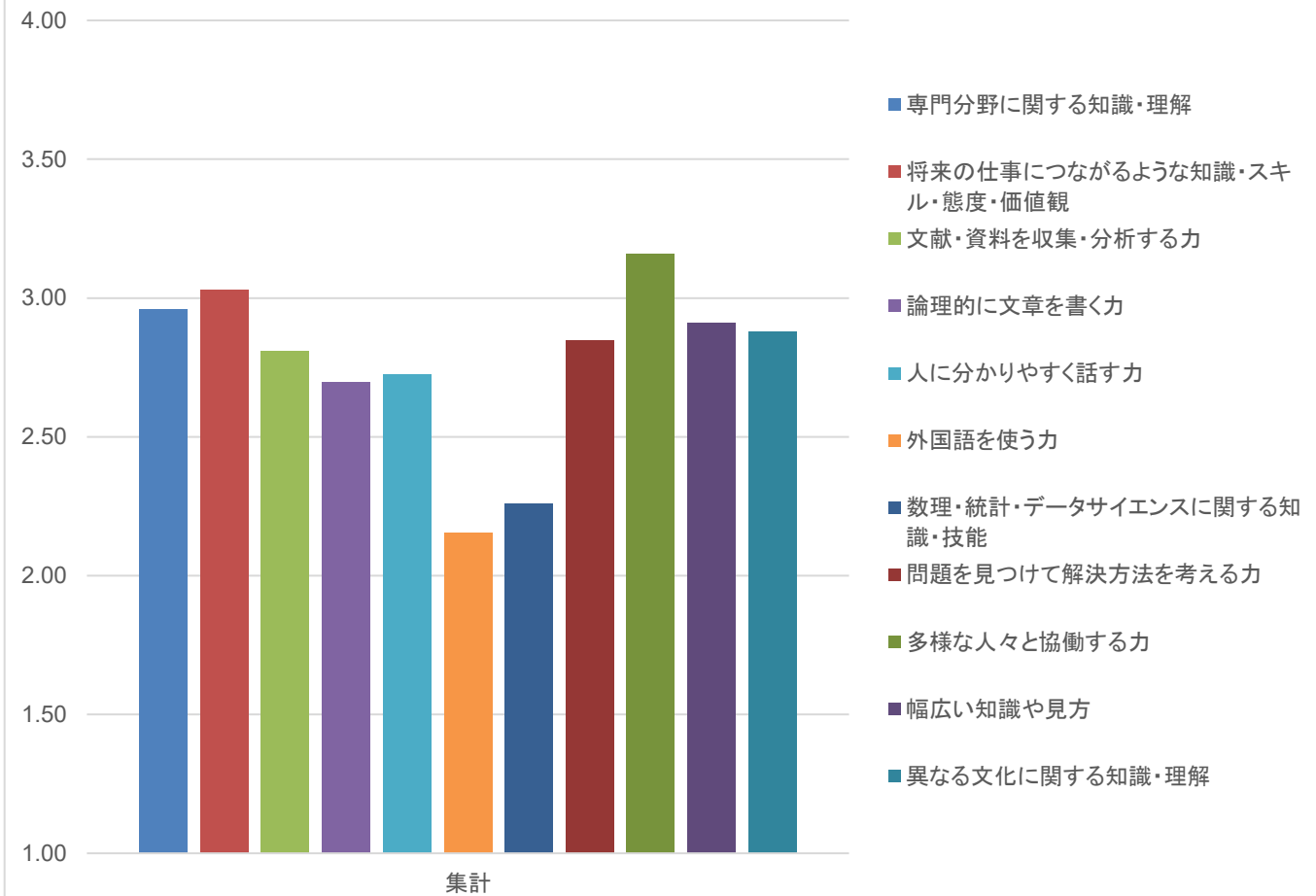
ティーチングアシスタントなどの担当教
員以外の人物による補助的な指導が
あった



知識能力の向上

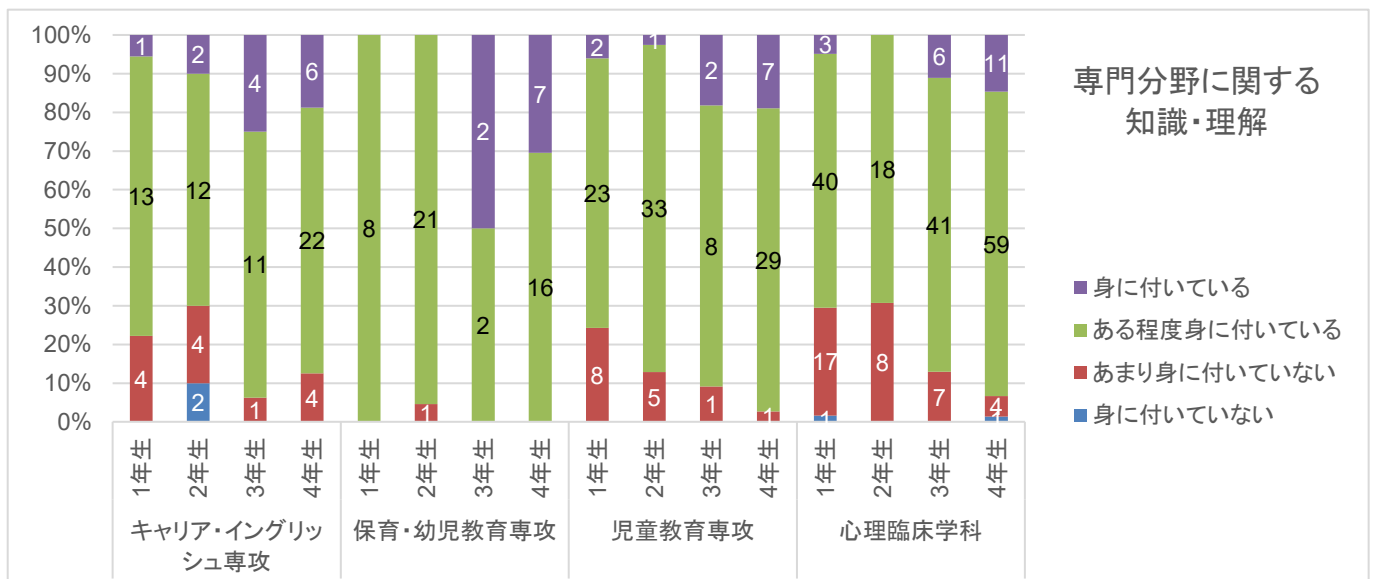
各項目に挙げる知識・能力に関して、「1. 身に付いていない」「2. あまり身に付いていない」「3. ある程度身に付いている」「4. 身に付いている」の4件法で質問し、回答者数に対する平均値を求めました。項目間で比べると、「多様な人々と協働する力」が 3.16 と最も高く、「外国語を使う力」(2.15)と「数理・統計・データサイエンスに関する知識・技能」(2.26)が他の項目(2.70～3.16)から離れて低くなっています。2024 年度との比較では、すべての項目で変化が 0.13 ポイント以内にとどまり、大きな変化は見られませんでした。

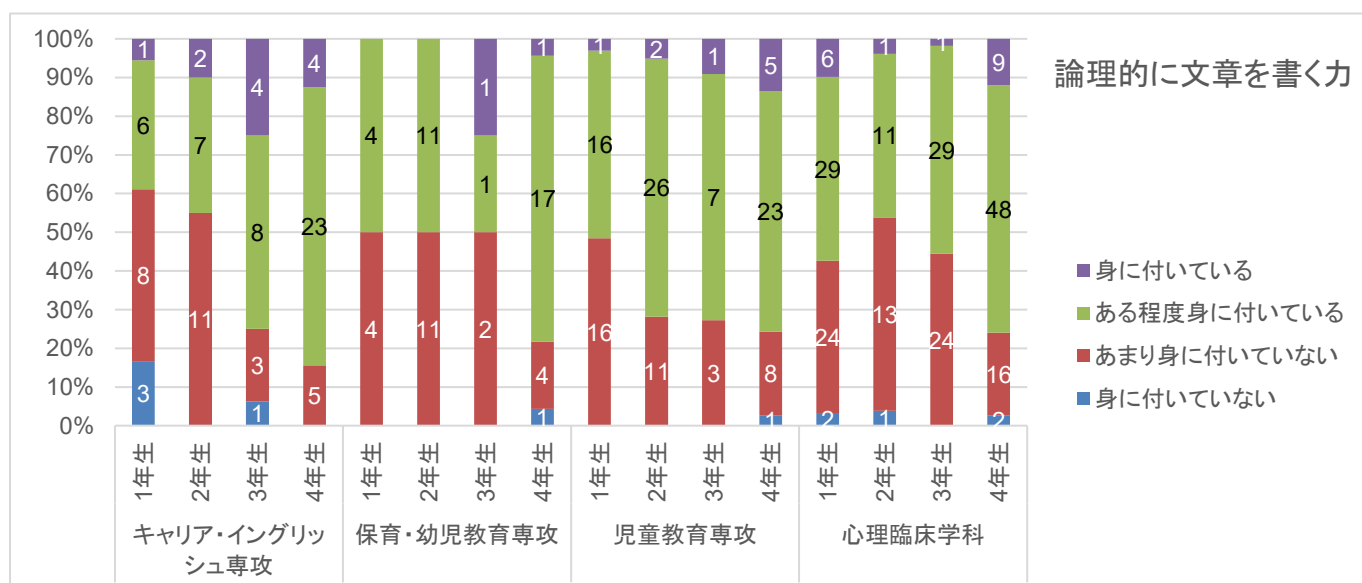
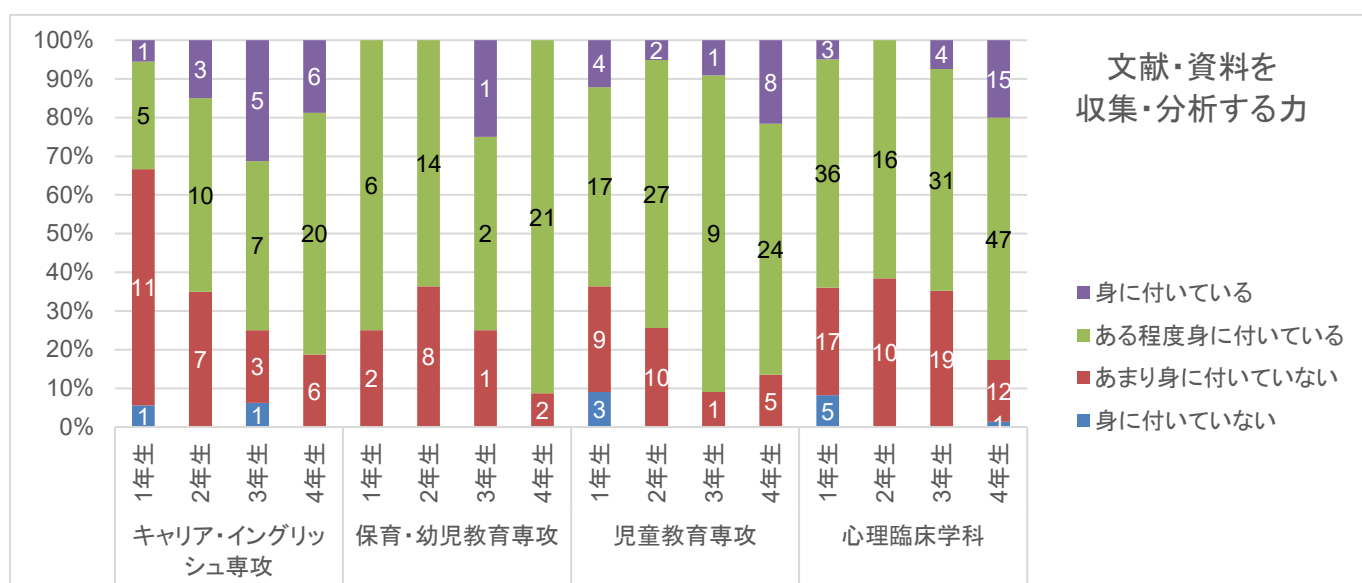
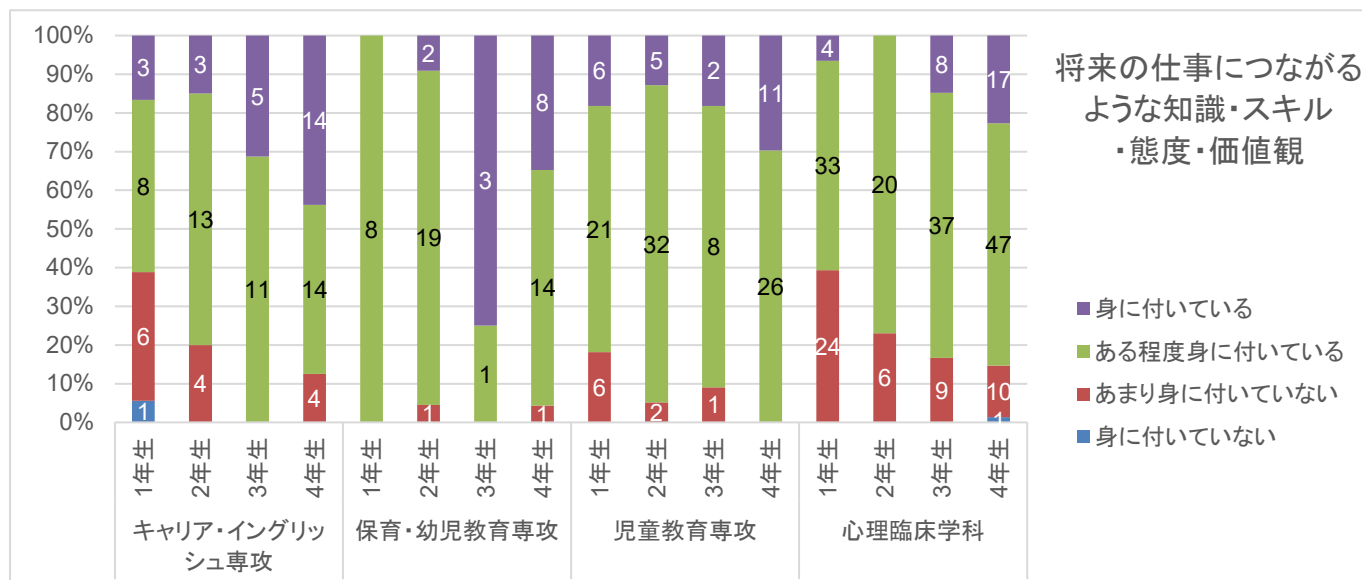
大学教育の効用

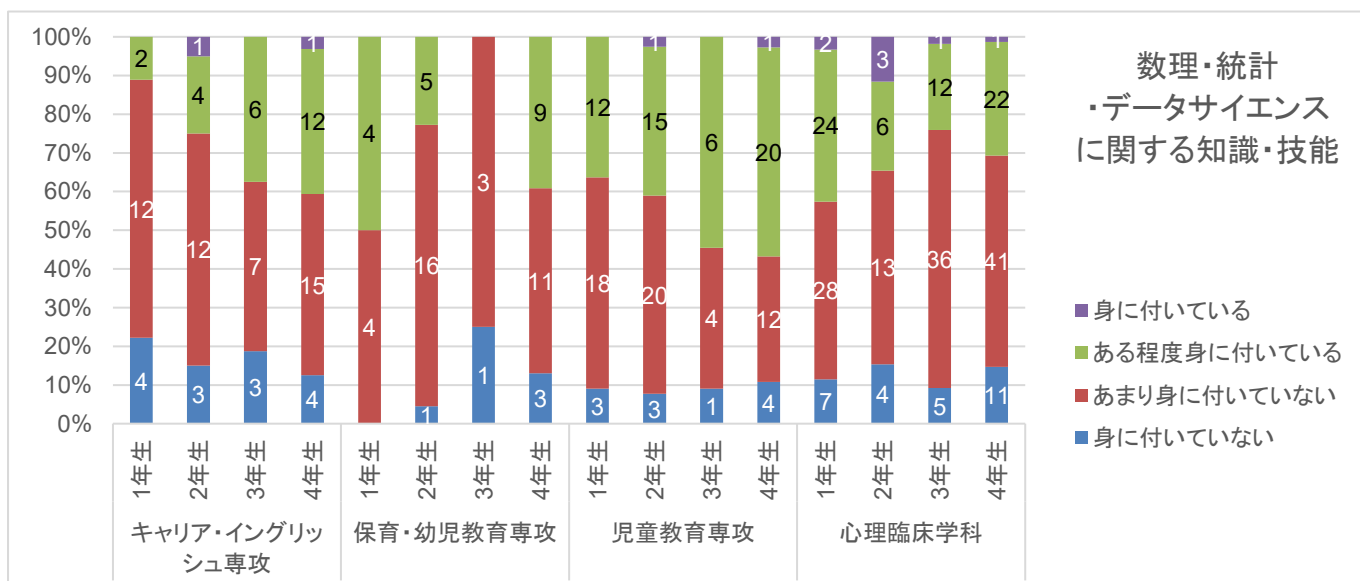
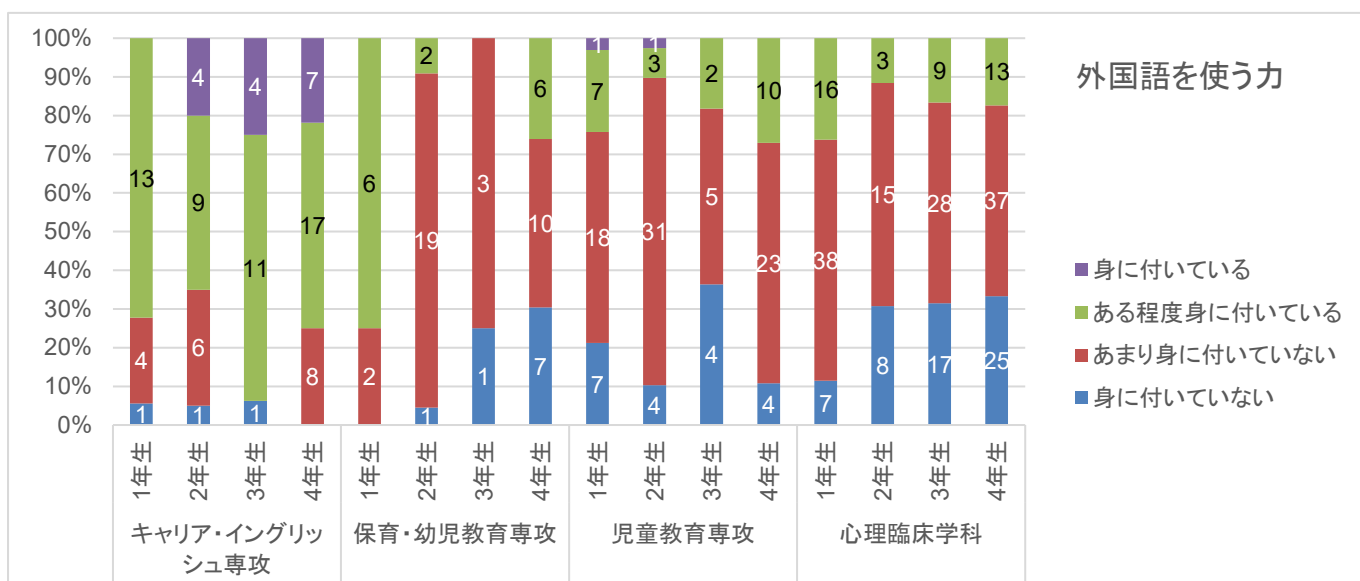
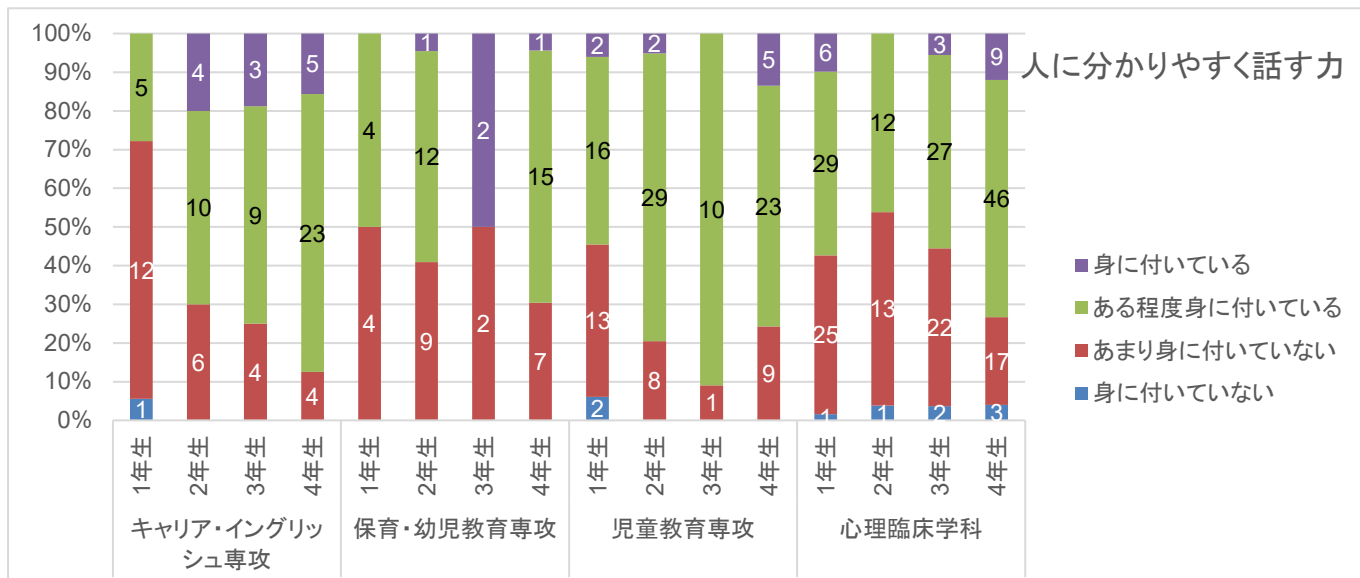


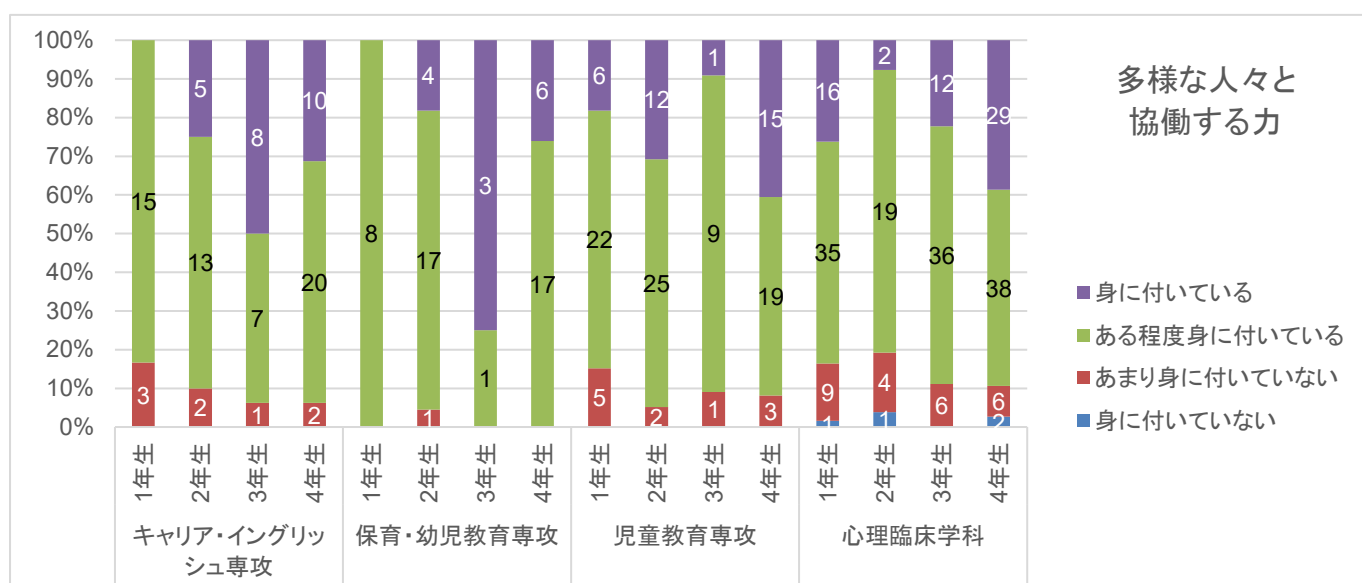
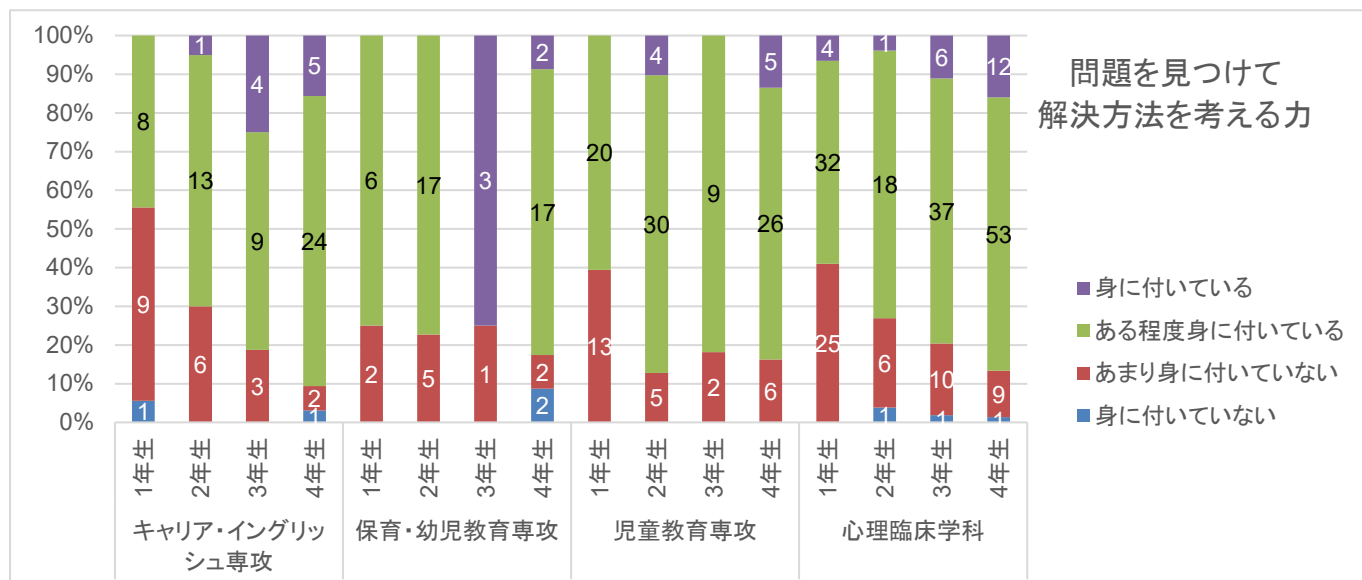
各学年・学科・専攻・コースごと

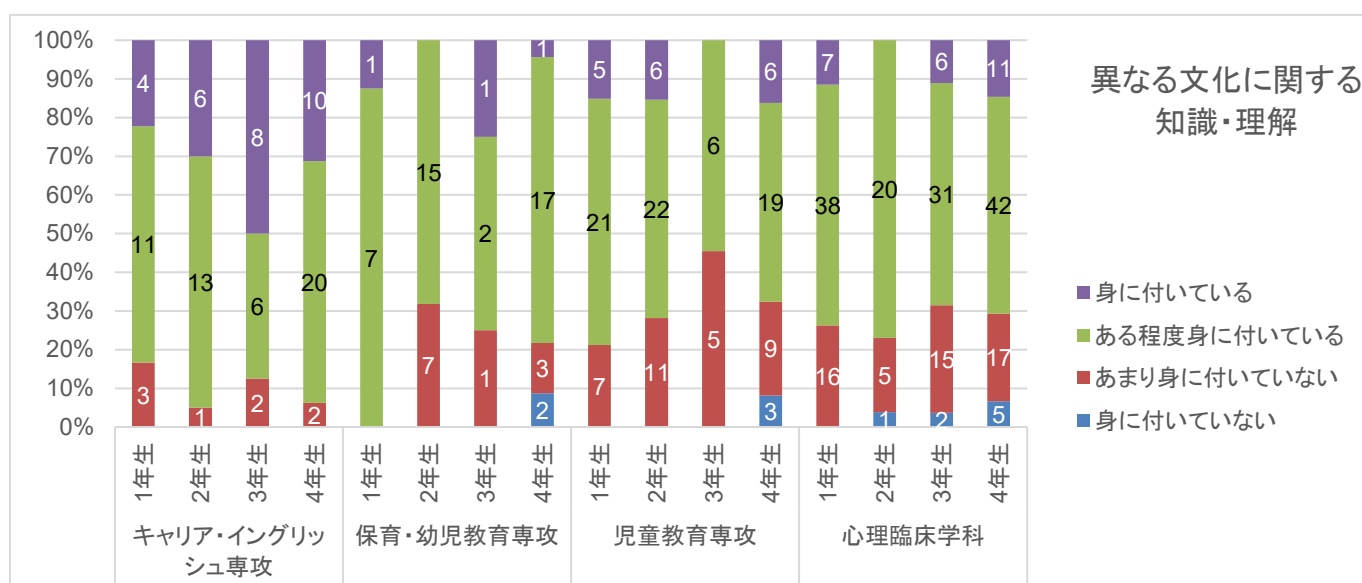
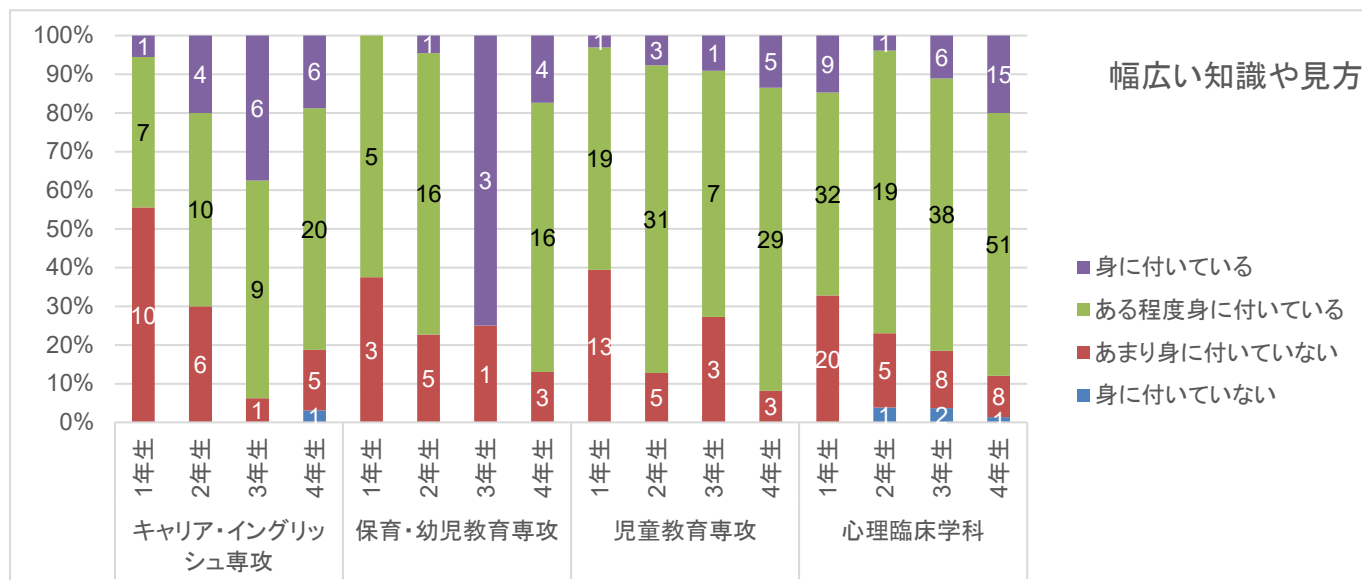
各学年および各学科・専攻・コースの各項目の分布は下図のとおりです。







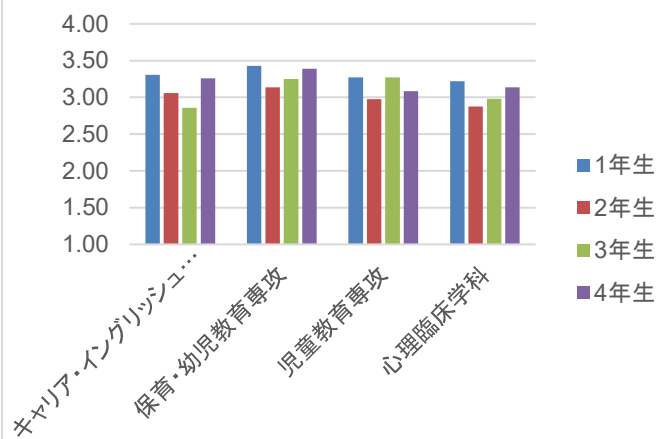




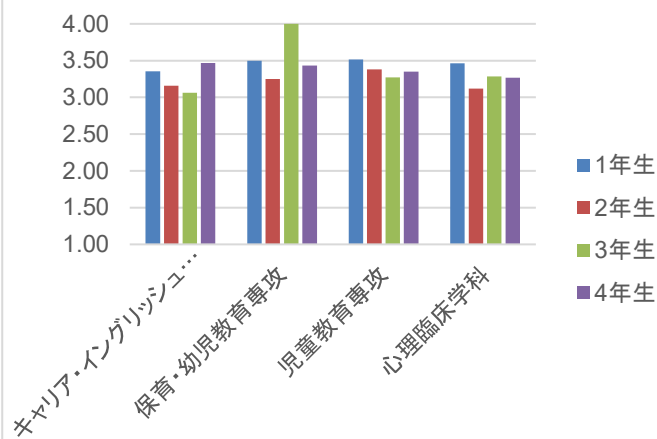
施設・サービス満足度

学内施設およびサービスに対する満足度に関して、「満足していない」「あまり満足していない」「ある程度満足している」「満足している」「利用していない」の5件法で質問し、「利用していない」以外の回答に関して、「1. 満足していない」「2. あまり満足していない」「3. ある程度満足している」「4. 満足している」と点数化し、その平均値を求めました。2024 年度より、項目が一部変更・整理されました。9 項目の平均値を比べると、最も低いのは「部室・自治会室」の 2.78 で、他の 8 項目（3.11～3.42）から離れています。最も高いのは「学生生活や就職に関する相談やサポート」の 3.42 でした。

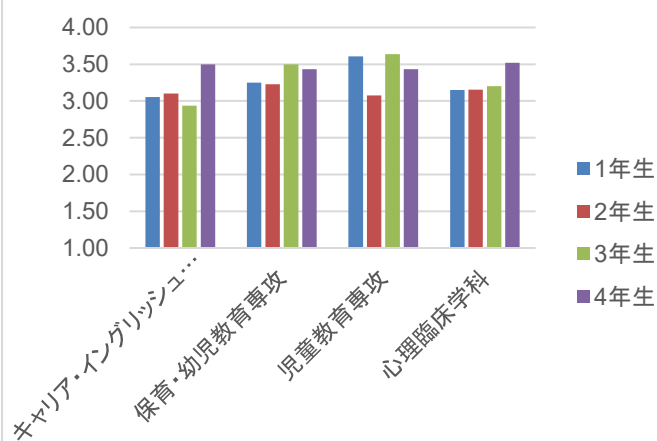
教室全般(体育館、実習室、実験室、ピアノ室等も含む)の設備



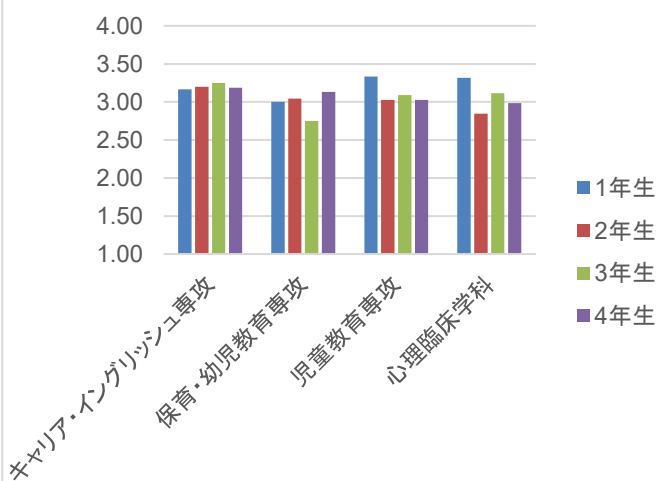
図書館・ラーニングコモンズの設備とサポート



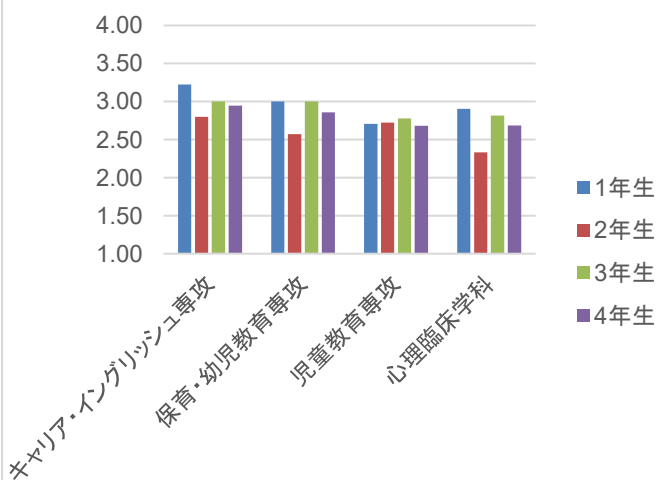
Wi-Fi及びネットワークに関するサポート



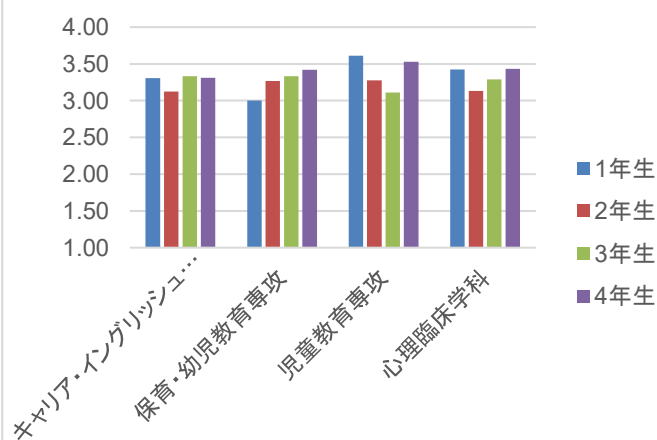
売店・食堂の設備やサービス



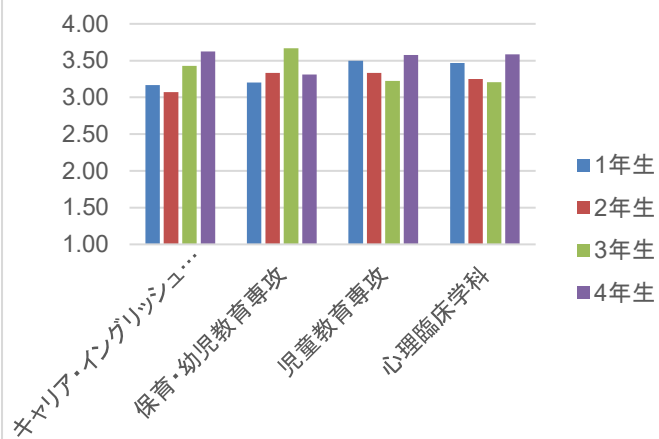
部室・自治会室



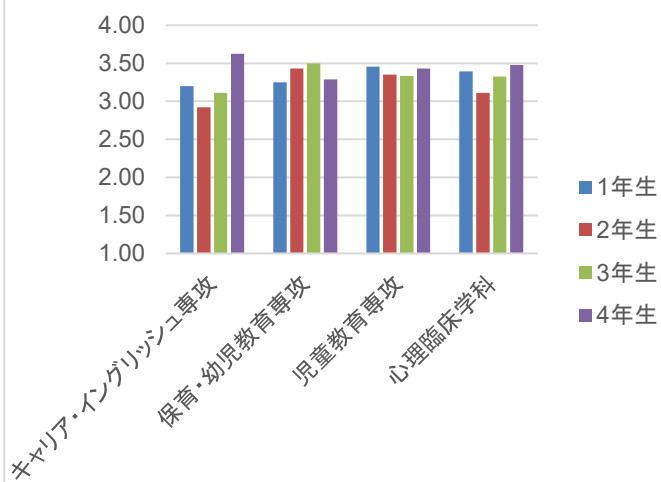
科目履修や資格取得に関する教育相談やサポート



学生生活や就職に関する相談やサポート



心身の健康に関わる相談やサポート



事件・事故・被災・ハラスメントに関する相談やサポート

